

PAM通信 コラム

2010年11月発行

〈第44回〉大人の玩具。

何年か前から、外出時の必須アイテムにデジタルカメラが加わりました。デジタルカメラが安価になったことが理由の1つですが、その頃に始めた川沿いの散歩の時に見かける“生き物”の写真が撮りたくなったことが最大の理由です。生き物の写真コレクションは「鯉」や「亀」、「トカゲ」や「てんとう虫」、「桜」や「菜の花」など、たくさん集まりました。その他にも、川沿いに造られている公園の造成過程を定期的に記録した写真や、テレビ朝日で放送されている「ナニコレ珍百景」に投稿するために撮影した面白い事物や風景の写真、車イスにデジタルカメラを固定して走りながら撮影した動画なども、たくさん貯まりました。これはまだ実現していませんが、事故や事件に遭遇した時にスクープ（野次馬的？）写真も撮れるといいと思っています。デジタルカメラは外出や散歩のお供として大活躍しています。

撮れた写真の画質や解像度などに、あまりこだわりはないのですが、最近になってデジタルカメラの買い替えの検討を始めました。それは、防水ケースに入れずに水の中で使用できる、防水タイプのデジタルカメラが欲しくなったからです。インターネットの動画投稿サイトで見かけた“溪流に防水タイプのデジタルカメラを浸け、泳ぐ魚を撮った動画”に興味をそそられ、散歩で訪れる境川や、海の防波堤や港に、“防水タイプのデジタルカメラをロープで吊り下げて沈ませてみる”と、興味深い映像が撮れるのではないかと思いました。境川の深みには、どんな生き物がいるのでしょうか？防波堤に沿って沈めていくカメラの前を、どんな生き物が通り過ぎて行くのでしょうか？考えるだけでワクワクしてしまいます！ 障害を持つ前にスキューバダイビングを趣味にしていた私には水中撮影にノスタルジックな思い出が強いのかもかもしれません…

防水タイプのデジタルカメラを使えば他にも面白い実験映像がたくさん撮れると思います。衝撃にも強いので精密機器であっても取り扱いに気を使わなくていいことも利点だと思います。衝撃への強さと軽さを利用して、凧に吊り下げ空中撮影にもチャレンジもしてみたいと思っています。

デジタルカメラは安価になってきたと言っても、壊れる可能性や失くす可能性を覚悟しながら使う玩具としては少々高価です。でも、好奇心を満足させる玩具としては十分に原価償却できるものではないでしょうか？（TK）

パーソナルアシスタント町田 194-0013 町田市原町田 4-18-6-102 Mail : pam@pa-machida.co.jp 緊急時:090-1406-9367